**令和６年度大阪府がん対策推進委員会　第２回がん検診部会（概要）**

１．日　時：令和７年２月27日（木）18時～19時

２．場　所：大阪がん循環器病予防センター　６階研修室

３．議　事：（１）第４期大阪府がん対策推進計画進捗管理について（報告）

（２）令和７年度実施新規事業の報告について

４．委員からの意見要旨

（１）第４期大阪府がん対策推進計画進捗管理について（報告）

≪たばこ対策について≫

　　○　大阪市が全面路上喫煙禁止となったが、大阪府として、府域全域に路上喫煙の禁止を進める考えはないか。

　　○　メディアを通じたさらなる周知が必要。

　　○　禁煙化を進めるために喫煙者が非喫煙者に比べて健康寿命が短いことを示すなど、具体的な利益を示すことが重要。

≪がん検診について≫

* 精密検査受診率向上のためには、基本的に市町村は再度ハガキなど通知を送るなどをするのか。他に何か方法はあるのか。
* 各市町村にがん種ごとの精度管理委員会が設置されているか把握しているか。各市町村の医師会が精度管理委員会のシステムを作り上げているかどうかが重要だが、作り上げていない市町村に対しては、大阪府が介入することも効果的であると考えられる。
* がん検診を受診する人は、もともと定期的に受診する意識のある人が多く、受診していない人はそもそも検診が実施されていることすら知らない場合もある。そのようながん検診に関心のない人もターゲットにしなければ、さらなる受診率の向上に繋がらない。がん検診においてマイナンバーの活用が可能になれば、より効果的な受診勧奨ができるようになるかもしれない。
* 受診者に対するインセンティブの付与や、その手法について独自の工夫をすべきでは。
* 例えば子宮頸がん検診の啓発については、特に受診してほしい20代～30代の若い世代にターゲットを絞るなど、死亡率減少を考えたメリハリのある取り組みが必要。
* 大阪公立大学で実施した事業について、受診者は少ないが、今後の取り組みの参考となるため、工夫を重ねて引き続き実施してほしい。

（２）令和７年度実施新規事業の報告について

≪公衆喫煙所設置助成事業について≫

　　○　今現在大阪府内に何ヶ所の設置があるかについての数字はあるのか。

　　○　交付件数が24件であることに対し、多数の応募があった場合の選定基準については。

≪大阪府「がん検診に行こう！」キャンペーンについて≫

* ぜひ取り組んでいただきたい。また、いかに多くの人に来てもらうかを考え、広告媒体なども活用していただきたい。
* 胃がんに関していえば、メッセージとして効果的なのは、「早期がんで発見すると98％以上が助かる」「胃がんは進行するまで症状がありません」という調査もある。市民公開講座などの参加者は健康意識の高い人が多いため、健康意識の低い人たちに来てもらうための仕掛けを工夫することが必要。